

令和4年度 第1回 新潟市白根地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和4年6月27日（月）午前10時から午前11時40分

場 所： 白根学習館2階 ルーム1・2

出席者： 新潟市白根地区公民館運営審議会委員 井浦委員、平山委員、小松委員、諸原委員、山崎委員
浅間委員、野本委員、富井委員、丸山委員

事務局： 白根地区公民館 和田館長、小林、田中、高森、関根、渡辺、八木、田部、石西
味方地区公民館 村山館長、海藤
月潟地区公民館 相馬館長、武田

1 開会

2 白根地区公民館長あいさつ

3 委員自己紹介

4 公民館職員自己紹介

5 議長あいさつ

6 議事

(1) 令和3年度公民館事業報告について

(事務局) 「令和3年度公民館事業報告」について、白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の各館長が総括し説明。

(野本委員) 味方地区公民館の「あじかた音楽鑑賞会」の内容をお聞きしたい。

(村山館長) 味方文化協会の総会終了後、地元（白根）のソプラノ歌手とピアノ演奏者のお二人をお招きし、1時間弱のミニコンサートで生の歌声に触れていただきました。

(富井委員) 白根地区公民館の庄瀬地区の取組みで「庄瀬子ども広場」というものがあり、夏休み中の小学生を対象に体験活動を実施するとあるが、主にどのようなことをしたのでしょうか。児童館長の立場として、とても気になるのでお聞きしたい。味方地区公民館の女性セミナーの内容についてもお聞きしたい。

(事務局) 「庄瀬子ども広場」は毎年行っていますが、令和3年度は粘土作家の乙川千香さんをお呼びしてヤジロベエを作りました。

(村山館長) 「女性セミナー」ですが、「アロマを楽しむ」回と、着こなしのポイント「骨格診断」と似合う色を探す「パーソナルカラー診断」の計3回実施しました。

(2) 令和4年度新潟市公民館事業の基本方針について

(和田館長) 「令和4年度新潟市公民館事業の基本方針」について説明。基本方針のもと、地域の実情やニーズに合わせて、地域公民館事業を展開し、地域コミュニティの活性化や、子どもから高齢者までの幅広い世代へ学びの場を提供し、支援に努めていきたい。

(小松議長) この基本方針をもとに地域活動、公民館活動を実施するということですが、質問はありますか。(質疑なし)

(3) 令和4年度公民館事業計画および実施状況について

(事務局) 「令和4年度公民館事業計画および実施状況」について、白根地区公民館、味方地区公民館、月潟地区公民館の各館長が総括し説明。その後、主な事業について各担当から説明。

(浅間委員) 「愉快痛快シニアライフ」でスマホ講座を開催し、私も参加させていただいた。延べ約100人の参加者で熱気がありました。コロナ禍ということもあり皆さんこういったものを求めているのだと感じました。もう一つ、味方では読み聞かせの講習会があり、私の所属している団体も昔話のようなことをしているので目に付いたのですが、読み聞かせは図書館でやっていますが、読み聞かせの団体、あるいは児童館の関係もあるのでしょうか。

(事務局) 「絵本のお話の会」と共催で、絵本の出版社である「おむすび舎」代表の霜鳥先生をお呼びして、普段読み聞かせをする側から聞く側になり、絵本をどのように読むと心地よく聞けるのかという逆の立場になった講習を開催し、好評でした。

(浅間委員) 味方は「曾我量深・平澤興記念館」という施設があり、歴史講座は「味方歴史文化研究会」というのがありますが、記念館の方がやっているのでしょうか。

(村山館長) 直接記念館とは関係なく、郷土史を研究するサークル「味方歴史文化研究会」の学習活動の支援という意味で講座を開催しています。

(浅間委員) 一昨日、「曾我量深・平澤興記念館」で、曾我量深先生に関する講演会があったのですが、大変良いお話だったので、南区で活用していくことが出来ないのかなということと、平澤興さんも立派な方で、40年ほど前に京都で講演をお聞きしましたが、大変すばらしい先生ですので、皆様方にも注目していただきたいと思います。

(村山館長) 委員がご指摘の通り、曾我・平澤先生いずれも味方地区以外に広がりを持つような状況ではないため、今後関係機関にも伝えていきたい。

(野本委員) 地域学の「中ノ口川と地域の歴史」に参加させていただいたところ、女性は5名で、ほか全員が男性でした。男性でも興味があると大勢集まるのだと感じたのですが、地域学はいつもこんなに参加者がいるのでしょうか。

(和田館長) 地域学は「企画員」がおり、皆さんで興味あるテーマについて意見を出し合いながら組み立てて作っています。全般的に先人の歩み、作り伝えてきた文化や歴史等にニーズがあるのではと感じています。

(野本委員) 私たちが知らないだけで地域の偉人がたくさんいらっしゃいます。そういった新しい企画を立てていただければ、平澤先生などがもっと地域に知られるのではないかと思います。スマホ教室は私も参加しましたが、すごく良かったです。高校と公民館、地域の連携の話聞いて感動し、これからはそういったところにも目を向けていきたいと感じました。

(和田館長) 野本委員の意見、私たちも非常に背中を押していただいたと思っております。高校生の取組みにつきましては、南区唯一の高校である白根高校の入学者は定員を割り続けているのが現状です。白根高校の役割、地域からの期待が、協定締結と相まって高まってきていると思っています。地域を支える若者として、南区あるいは新潟市に残ってくれるよう郷土愛を育てながら白根高校の活動を支えていきたいと思っています。

(小松議長) ありがとうございます。公民館事業をやっていく中で、生徒との関わりという大きなものがあります。全体を通し校長先生お二方から感想をお願いします。

(井浦委員) 全ての年代に渡り、多様な事業が実施されていることに感心しました。ただ令和4年

度の計画の中で「子ども大凧合戦」が中止とあるのが非常に残念と感じました。3月に検討があったとのことですが、やはり3年やっていないというのは伝承から考えると、学校としても子どもたちにとっては、これ以上中止にしたいくないというのが本音です。今回については、学校に最大限尊重いただいて、やむなく中止となったと思うのですが、この2年間のコロナ禍で感染状況は、地域や学校によって非常に差があることが分かっています。来年度については、選択ができる可能な限りの実施という方向で検討いただけるとありがたいと思っています。私ども小学校の校長会ではそういった方向も含めて進んでいきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

(平山委員) コロナ禍のご苦勞に対し大変だったことと感じます。今年度からすこしずつ回復が望まれるような状況になってきましたので、一層活気のある事業が展開されることを祈念します。個人的には白根高校との連携事業に注目しており、これから充実していくと思います。中学校の総合的な学習の時間等も、内容としては多くの中学校が地元の課題を確認して、それに対する課題解決のアイデアを練っていくことをゴールにして、地域とともにある学校、地域をどのように考えていくかを選定してもらえるカリキュラムになっていますので、高校生が考えた課題解決の方法を、ぜひ中学校を含む区内にもフィードバックし、新たな課題解決に進んでいけるような形での体制づくりを希望します。

(小松議長) ありがとうございます。諸原委員から何かございますか。

(諸原委員) 私も西区の高校の同窓会長を昨年までやらせていただきましたが、非常に参考になりました。白根高校との連携のような活動を広げていきたいという感想を持ちました。

(山崎副議長) 白根第一中学校や白根北中学校からの依頼で、「しろね絞り」についての説明や絞りの仕方について教えています。後継者育成といっても、仕事などで忙しい大人にはなかなか難しい問題ですので、小学校や中学校に行き、児童・生徒向けの教え方でやっていますので、今後も皆さんのご協力をお願いします。

(小松議長) ありがとうございます。以上で議事は終了します。

7 その他（連絡事項等）

(事務局) 7月22日開催予定の県公民館大会の出欠連絡について依頼。

令和4年度第2回運営審議会について、令和5年2月から3月頃の開催予定であることを説明。

(事務局) 皆様、長時間のご審議、ご意見、またご感想等いただき、ありがとうございました。いただいた意見を参考に今後の事業実施や運営に役立てていきたいと思っています。以上で白根地区公民館運営審議会を終了いたします。本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

8 閉会